



エコネットあんじょう

エコネ

エコネット
あんじょう機関紙

第4号

2008/2

「エコネットあんじょう」の1年を振り返って



市

市民・市民団体・事業者・市が協働して安城市の環境を良くしていくと、地球温暖化対策地域協議会「エコネットあんじょう」を発足したのは、平成18年11月26日のことでした。現在1年余りが経過しましたが、その間さまざまな活動を実施しました。

初めての事業は環境フォーラムでした。ジョンギヤスライトさんの基調講演『ふるさとの緑をまもるためには』、会員及び小学生の皆さんの環境活動の発表パネルディスカッション、それから各団体を紹介するポスターセッションなどを行いました。大勢の個人・団体会員で1つのものを作り上げていくことには大変な苦労を要しましたが、互いに協働して、このフォーラムを成功させることができました。

続いて昨年6月から10月まで、「あんじょうエ「カレッジ」を開催しました。これは、市民にもっと環境について学んでもらうために開いた連続講座で、講師には、タレントの鉄崎幹人さんをはじめ大学教授などさまざまな分野からお招きしました。毎回多くの市民、会員の方に受講していただき、大変勉強になったという声を多く聞くことができました。

このほか、自然部会の秋葉公園自然教室、美化部会のいきいきウォークラリー、くらし部会の雑がみ分別イベント、河川部会のはんば川クリーン活動など、各部会でも数多くの事業を行い、市民の皆さんに環境保全活動の大切さを伝えることができたのではないかと思います。

こうしたイベントや催し物に、多くの市民の皆さんが参加していただいています。これは大変ありがたいことです。今後も安城市の環境を良くしていくためさらなる活動を推し進めたいと思っていますので、ぜひ皆さんにもご協力いただき、「環境首都・安城」をめざしていきましょう。

各部会活動

平成19年度の各部会のこれまでの活動を報告します。

美化部会

美化部会では、10月2日に部会員らあわせて39名で静岡県のはままつフルーツパークに行き、視察研修を行いました。フルーツパークは、43万㎡の広大な敷地の中に160種4300本の果樹が栽培されており、さまざまなバリエーションのガーデンングを見ることが出来る施設です。まず、施設のスタッフから説明を受け、その後、東側エリアの果樹園と西側の正門付近の熱帯果樹温室施設を見学しました。この施設を大いに参考にして、今後のガーデンングづくりに励みたいと思います。

11月14日には、夏に応募したガーデンングコンテストの表彰式を堀内公園で行いました。このコンテストには36名の皆さんの応募があり、特別賞に選ばれた5名の方に表彰状と副賞をお渡ししました。応募作品はどれも自宅の庭や玄関先などに花があふれる素晴らしいものばかりでした。

今後もこのコンテストを実施する予定ですので、多くの市民の皆さんが参加していただけるようよろしく願います。



視察研修

くらし部会

今年度のくらし部会は主に、ごみ減量のための取り組みとして雑がみを分別し、リサイクルすることを啓発してきました。市内にあるリサイクルステーションでの雑がみ分別イベントを実施し、実際に雑がみ分別を体験してもらったり、実物を使った分別パネルで説明したりしました。

また参加者に、今までのイベントについてのアンケートに答えていただき、結果を集計しました。安城市が雑がみも資源として回収することになった事についてどう思うかという問では、「ごみ減量になって良い」という回答が9割以上を占めました。また、雑がみの回収を進める方法については、「市の広報などで充分にPRをする」が最も多く、続いて「紙専用の分別袋を指定する」と「リサイクルステーションを増やす」がほぼ同数でした。その他にも、雑がみ分別イベントをこれからも続けて何度も啓発したほうが良いという意見が多くありました。この結果をもとに、今後どのようにイベントを行ったら効果的になるかを話し合い、楽しく、ためになるイベントを作り上げていきたいと思います。



雑がみ分別イベント

これからのイベント案内

皆様のご参加お待ちしております！

全体会活動

●環境講演会：安城市から事業を受託して、市制55周年記念環境講演会を開催します。

日にち：2月23日(土) 午後1時30分から
場所：文化センターマツパホール
講師：柳生博氏

部会活動

自然部会

●ワークショップ「安城らしい自然環境とは？」
日にち：3月12日(水)
場所：未定

美化部会

●いきいきウォークラリー
日にち：3月22日(土) 午前9時から
場所：安城公園から総合運動公園まで(往復)
の明治用水緑道

くらし部会

●雑がみ分別イベント
日にち：2月17日(日)、3月9日(日)
ともに午前10時から

場所：2月・作野リサイクルステーション
3月・安城北部リサイクルステーション

河川部会

●油ヶ淵流域の環境を考える集い
日にち：2月9日(土) 午前9時から
場所：南部公民館多目的ホール

河川部会

はんば川クリーン活動

河川部会では、「取り戻そう碧海のふるさと」を合言葉に半場川の堤防や川の中の清掃活動を行いながら、市民の皆さんに川の現状を知ってもらい、親しみの持てる川をめざしています。

11月18日、12月2日の2回に分けて隅田橋から油ヶ淵までの6.8kmを清掃しました。地元住民や21企業団体グループ、明祥中学校、文山小学校などの協力により、500名以上の方が参加しました。その結果、ビニールやタイヤ、冷蔵庫、消火器などを回収しました。

*回収したごみの重量 1470kg

内訳 可燃：1140kg、不燃：100kg、

鉄くず：180kg、缶：50kg

ごみ拾い終了後メイン会場に集まり、河川部会長・副市長のあいさつの後、エコグルメの会協力によりトン汁を振る舞い、爽やかな雰囲気の中で、クリーン活動を終了しました。

参加者からは、「拾うより捨てない意識が大切」「昔の風景を子どもたちに返したい」「ごみが無い堤防は気持ちがいい」「これから協力するよ」などいろいろな声がかれ、活動に地域の人々が参加すれば「まちの美化」は定着すると思われました。

半場川は自然に恵まれ、史跡も多く点在し、デンパークから油ヶ淵水辺公園へと通じる唯一の堤防です。自然を楽しみながら、環境美化に関心を持ってもらえる活動を今後も行っていきますので、皆さんもぜひ参加してください。



はんば川クリーン活動

自然部会

9月29・30日

に、総合運動公園で市制55周年記念「安城子どもまつり」が行われ、「エコネツトあんじょ」は自然部会を中心に企画し、

参加しました。テーマは「スタンプラリーで樹木と友だちになろう」で、環境

スタンプラリーを通じて公園内の樹木と触れ合っていたきました。当日はあいにくの雨模様でしたが、約350人の皆さんが樹木と友だちになることができました。

11月3日には、「矢作川水源の森」がある長野県根羽村で自然観察会を行いました。この森のある根羽村は、明治用水の源である矢作川の源流にあるためとても縁が深く、安城市と森林の共同経営を行っています。

今回の観察会は、グリーンハウス森沢で昼食をとった後、茶臼山高原の力エル館を見学、そして茶臼山高原野外センターから「水源の森」沢ルートを散策しました。快晴無風の温暖な天気にも恵まれ、さらに根羽村役場や地元住民の皆さんの協力もあり、約50名の参加者は大自然の中で楽しいひとときを過ごしました。そして「水源の森」の針葉樹、水が染み出る斜面や土人形、朴ノ木などの落葉など、多くの自然を観察し、「水源の森」の大切さを知ることができました。



自然観察会

環境コラム

「環境首都・安城の実現に向けて」

世界に目をむけると面白い発見がある。フランスはロワールのANJOU地方ロワール川流域の美しい景観とワインで有名だ。また、韓国の首都ソウル郊外の安城(アンソン)―読みは違うが、漢字表記も全く同じ。行ったこともないが、ソウルから南東に60キロほど、1998年4月1日に市に昇格したばかりで、山地が52%もあり平地ばかりのわが安城とかなり違うという印象だ。両都市とも地勢、産業文化といったものはあるだろうが、その暮らしぶりはよくわからない。都市は人の暮らしどころ―歴史の長さは違うが、豊かな生活環境をめざし、その姿をとどめず未来に向かって皆変化し続けている。わが安城市もそうだ。

より豊かな生活を求めた「大量生産・大量消費・大量廃棄」の「20世紀」は終わりを告げ、「環境」の「21世紀」に時代は移った。わが安城市はかつて、日本デンマーク・セタ・安城梨のイメージがあつたが、現在は「環境首都・安城」をめざし、さまざまな政策を押し進め変化を続けている。しかし、果たしてこの間に、どれぐらい外に対して発信できただろうか(単に知名度だけでなく客観的に見てどう評価されているか)、内に対しての意識の啓発はできたのだろうか(市民総勢の環境首都・安城市民としての意識)。

続く(11000k
ameyuki)



会員紹介

エコネットあんじょうの会員の皆さんを紹介し
ます。

【個人会員 藤井誠一】

私は企業で、産業廃棄物の分別や省エネなどの
SDで指導を受けたおかげで、退職後くらし部会に
入会し、環境問題に取り組んでいます。

地域を見るとポイ捨ての多さが気になります。ラ
イフスタイルを変えて、無駄を排除しなければゴミ
の減量・街の美化になりませんし、分別しなければ
資源にもなりません。くらし部会の皆さんは優秀な
方が多く、ゴミ減量についての議論は大変勉強にな
ります。雑がみは分別が難しく、大半は燃やせるゴ
ミとして出されています。この雑がみの資源化が重
点課題の一つと考えています。そのため、雑がみ分
別イベントを開催し、部会員全員が分別ソムリエと
して参加しています。イベントでは、市民の皆さん
に現物の見本をもらい、分別体験をしていただ
いています。また昨年、分別の仕方小冊子(雑がみ
編)を発行しました。

私は毎週日曜日に開いている御幸本町のリサイク
ルステーションにいますので、気軽に立ち寄って
ください。子供達は、分別の仕方を教えれば、喜んで
親のお手伝いをしてくれます。私

は彼らが「家庭の分別ソムリ
エに育ってくれないかな」
と願う一方で、子供達のた
めにも、美しいゴミの無い
地域社会をのこすことが大人
の責任かなとも思っています。



【安城エプロン会】

消費者団体として昭和58年に設立し、キャッチフレ
ーズは『いつも爽、エプロン会』。男性も含む、10歳
代から70歳代までの幅広い年齢層の集まりで、会員は
ただいま30名です。設立以来次のような、その時々
の環境問題に取り組んできました。

- ※生ごみを減らす運動として、ごみの分別、エコクッ
キングの啓発、生ごみの肥料化
- ※ごみを減らす運動として、レジ袋の削減、マイバッ
グの持参運動

- ※CO₂を減らす運動として、環
境家計簿の記載、省エネ運動
- ※河川の浄化運動として、廃油
石けん作りの啓発と指導

- ※グリーンコンシューマーの啓
発として、地元で生産されて
いる減農薬栽培、有機栽培の
食品と、環境に配慮した商品、
環境に配慮した取り組みをし
ているスーパー、商店の紹介を載せたガイドマップ
の作成、配布

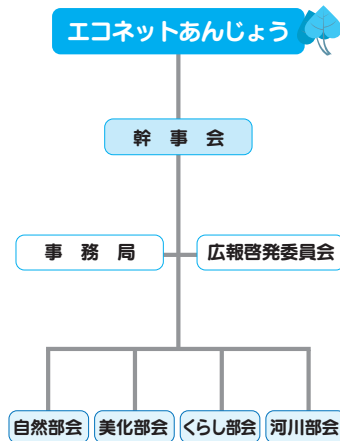


毎月第一月曜日には、明治川神社治いの清掃活動を
アダプトプログラムボランティアとして行っています。
また、施設の訪問も行っています。安城老人保健施
設では、2006年から出前すしパーティーの手伝い
をしています。安城特別養護老人ホームに、春は『ほ
たちち』を、秋は『おはぎ』を手作りしてお持ちする
ことで、私たちも楽しい時間を過ごしています。
こうした学習、体験そして実践活動を行っているエ
プロン会には、いつも笑い声が絶えません。

会員を募集しています

「環境を守る行動をしたい」、「行動の輪
を広げたい」、「環境情報などを発信したい」
と考えている方はぜひ、「エコネットあん
じょう」のメンバーに加わりませんか。個
人でも、団体でも結構です。エコネットあ
んじょう事務局までご連絡ください。年会
費は個人1000円、団体2000円とな
ります。会員になって、好きな部会で一緒
に活動しましょう。

エコネットあんじょう組織図



編集後記

この機関紙を作成しながら、昨年1年間を思
いおこしました。さまざまな個人や団体が集ま
ってこの「エコネットあんじょう」をつくり
環境活動を行ってきましたが、本当に1年とい
う期間は短いと感じました。

次の1年はどんな活動ができるのか、市民の
皆さんに理解していただける会となれるのか
これからのエコネットあんじょうがますます発
展するように努力していきたいと思えます。